

プロジェクトマネジメント実践基礎コース

概要

プロジェクトマネジメントの方法論は、プロジェクトマネージャーがプロジェクトを予定通り且つ効果的に定義・計画・コントロールするための能力には欠かせない知識です。PM実践基礎コースは、実用的なプロジェクトマネジメント・スキルの教育を目的として開発された実践に即したコースです。プレゼンテーション、演習、実際のプロジェクトを用いた実習などを通じて、すぐにでも活用可能なプロジェクト情報を習得しつつ、効果的なプロジェクトマネジメントのスキルを身につけていきます。

本コースの方法論は、PMBOK(プロジェクトマネジメント知識体系:世界標準となっている米国プロジェクトマネジメント協会発行の書籍)および一般的なモダン・プロジェクトマネジメントや実際の業務システム開発などの分野における長年の管理経験に基づくものです。これらを取り入れることで、PM実践基礎コースは近代産業におけるプロジェクトマネージャーにとって非常に実用的なコースになっています。

目的

コース受講者は以下を習得します。

- 望ましい成果を達成するため、プロジェクトを定義し、信頼性の高い計画を開発するシステムティックなアプローチ
- プロジェクトの進捗状況を把握、評価するための実証されたテクニック
- 実習を通じての実践的な経験

利点

コース受講の結果、組織は以下のような効果を得られます。

- 組織全体を通してプロジェクトマネジメントに関する用語や方法論が統一され、製品開発プロセスの改善につながる
- プロジェクトマネジメントのベストプラクティスを学ぶことでコスト面の効率性が高まる
- 現状または将来的なプロジェクトマネジメントに関する問題を定義・解決するための方法論を習得できる
- 実証された方法論に基づき、変更やリスクのシステムティックな管理ができる
- 実証済みのテクニックとツールによりプロジェクトチームの生産性が向上する
- 意思決定のための、事実に基づいたデータ開発の組織的な能力が高まる

内容/プロセス

3日間に渡り、プロジェクトマネジメントの段階的なプロセスを、定義、計画、コントロールにフォーカスして学んでいきます。

内容に含まれるコンセプトはすべて、例示、練習問題やグループワークを通じて補強していきます。プロセスを実際のプロジェクトに応用したり、選択肢から選んだケーススタディに応用したりすることで、実用可能な結果につなげていきます。

3日目の終わりまでには、新しいコンセプトとテクニックをプロジェクトの計画やコントロールに応用するという実践的な経験ができるようになっています。

プロジェクトマネジメント実践基礎コース

概略(予告なく変更される場合があります)

- プロジェクト基礎知識
- プロジェクトの立上げ:
 - プロジェクトの開始
 - プロジェクト憲章、スコープ記述書暫定版作成
- プロジェクトの計画:
 - プロジェクトの分割(WBSの作成)
 - オーナー割り振り
 - アクティビティ・リスト作成
 - ディペンデンシーの分析、特定
 - ネットワーク図の作成
 - CPMによる分析
 - 資源配分
 - リスクの特定と分析
 - コスト・ベースラインの作成
- プロジェクトのコントロール:
 - 進捗状況の情報収集
 - 差異分析
 - 対応策の評価と施行
 - プロジェクトの進行状況のレポート

まとめ

PM実践基礎コースは、プロジェクトマネジャーのプロジェクト関連スキルを向上させることにより、迅速かつ効率良いプロジェクトマネジメントの実践を可能にする、コスト効果の高い手法です。本コースで紹介する方法論は、プロジェクトおよびプログラムの管理方法を持続的に改善し、ビジネス目標を達成させることを目標としています。

参加対象者

PM実践基礎コースで学ぶ方法論は、あらゆる業種が対象となります。特に、プロジェクトマネジャーまたはその候補者、そしてプロジェクトに携わるすべてのプロフェッショナルの方々の受講を推奨しています。

期間

3日間(24時間)

PDU

24ポイント

受講料

1名 210,000円(税抜き:200,000円)



For More Information

ピー・エム・グローバル株式会社
〒104-0031 東京都中央区
京橋 2-7-14 ビュレックス京橋 8F
Email: info@pm-global.com
Phone: 03-5159-2151